

「赤ちゃんポストについて」

鹿本高校

〈赤ちゃんポストの現状と課題〉

現状:

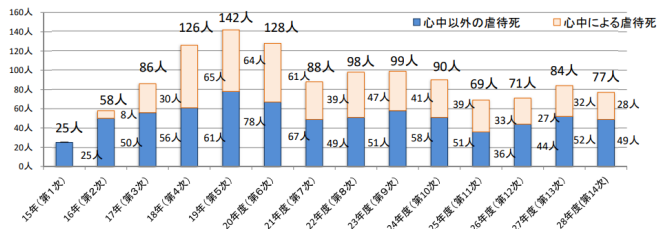
主に子供を預ける人は生活が苦しくなった人や誰にも言えない事情がある人が利用する。設置開始から約2年5カ月の間に合計51人の子どもの預け入れがあった。これは1か月に約1.8人のペースで預け入れがある計算になる。また、預け入れた親は九州内が全体25.5%であり、関東地方から預け入れに来たケースも多数あった。病院外に子供を置き去りにする人がいる。

目的:

赤ちゃんを放置することなく、安全に病院などで保護できるようにする。赤ちゃんポストを増やす。

児童虐待による死亡事例の推移(児童数)

社会保障審議会児童部児童虐待等要保護事例の検証に関する専門委員会による検証結果より



(注1)平成15年～平成19年までは暦年、平成20年度以降は年度。(注2)平成15年はH15.7.1～H15.12.31の6か月間。(注3)平成19年はH19.1.1～H20.3.31の15か月間

〈研究手法〉

- ・パンフレットを読む。
- ・慈恵病院に関する記事を読む。

〈仮説〉

仮説①:

「赤ちゃんを放置することなく、安全に病院などで保護できるようにすること。」

病院外にカプセルを設置した建物を建てる。建物内に監視カメラをつけ、カプセルに赤ちゃんが預けられて親が去ることを確認できてから赤ちゃんを回収する。

仮説①を立てた根拠:

受け取る看護師とも話したくないし、知られたくない人もいると思うから、この方法が有効だと思った。

仮説①を検証する方法:

- ・実際にそのような施設があるか調べる。
- ・もしあれば、レビューを確認する。

仮説②:

「赤ちゃんポストを増やす。」

47都道府県に赤ちゃんポスト

仮説②を立てた根拠:

〈参考文献〉

(このとりのゆりかごの利用状況) http://www.shigakukan.ac.jp/information/upload/report2010_02.pdf

(虐待などによる死亡数) <https://www.mhlw.go.jp/content/11900000/000361196.pdf>

(慈恵病院ホームページ) <https://jikei-hp.or.jp/cradle-of-the-stork/>

(赤ちゃんポストへの意見) <http://www.cc.okayama-u.ac.jp/~mikiya/2007%20wadai%20akachan%20post.pdf>

(赤ちゃんポストの内訳) <https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000753.000013640.htm>

全国で虐待や、育児放棄などの事件が続いているから。

仮説②を検証する方法:

- ・赤ちゃんポストの問題点を調べる。
- ・増えたことで発生する問題を調べたり、考えたりする。

赤ちゃんポスト利用状況の内訳(2019年3月まで、熊本市公表)

利用件数	144	子どもの実父	母親と婚姻中(夫)	24
性別	男 75	母親と内縁関係	恋人など	7
	女 69	実父に別の妻子あり	その他	35
年齢	新生児 118	不明	不明	19
	(うち早期新生児) 76	不明	不明	24
	乳児 18	不明	不明	35
	幼児 8	利用した	生活困窮	39
健康状態	良好 114	主な理由	親(祖父母)等の反対	11
	要医療 30		未婚	30
身体的虐待の疑い	0		不倫	18
母親の年齢	10代 15		世間体・戸籍	26
	20代 52		パートナーの問題	23
	30代 34		養育拒否	10
	40代 9		育児不安・負担感	9
	不明 34		その他	23
母親の婚姻状況	婚姻 37	預けに来た人	母親	103
	離婚 26		父親	29
	死別 1		祖父母	19
	未婚 47		不明	28
	不明 33	その他	着衣以外に着かれていたものがあつた(うち父母などからの手紙)	88
出産場所	医療機関 54		父母などの事後接触があつた	51
	医療機関(推測) 7		父母などの引き取り	33
	自宅 67			16
	車中 4			
	不明 12			

〈考察〉

赤ちゃんポストの利用者数や、児童虐待、育児放棄などの件数を調べると、人数が多く、そこが課題だと思った。利用者は県外の人も多く、47都道府県全てに赤ちゃんポストを設置すると、また多くの赤ちゃんが預けられるのではないかと。しかし、その運営にも多額の費用がかかり、施設側も負担が大きいのを命をたくさん守るために設置場所を増やすことは、たくさんの課題があると思った。

〈結論並びに今後の展望〉

赤ちゃんの安全な保護も課題だが、本当はそのような事が起こってほしくない。児童虐待や育児放棄などの課題がたくさんあることがわかった。このようなことは無くなっていかねばならないが、赤ちゃんポストなど、小さい子供の命を守るための取り組みも必要だと思った。しかし、全国に赤ちゃんポストがある場所は少ないので、その運営をしている病院の負担を減らすために何が出来るのかも考えていきたいと思った。今後は、虐待などが減っていくことが一番いいが、そのような事があつた時に命を守れる場所について真剣に考えていこうと思う。